総括質問

今定例会では、16人の議員が議案や市政を問う「総括質問」を行いました。

詳しい質疑内容は、市議会ホームページのインターネット中継（録画放送）をご覧ください。

★質問者の文責により質問と答弁の要旨を掲載しています。

9月　定例会概要

8/26～9/18・会期24日間

8月26日　本会議（第1日）
- 市長提出案件の上程
- 市長の提案説明

9月4日～9日　本会議（第2～5日）
- 総括質問
- 決算特別委員会の設置

9月11日～14日　常任委員会
- 11日　総務経済常任委員会　都市建設常任委員会
- 14日　環境厚生常任委員会　教育民生常任委員会

9月18日　本会議（第6日）
- 市長提出議案の表決
- 請願の表決

清風クラブ

子や孫へつなげていく未来像 選ばれるまちに

野崎　審也　議員

子育て支援

育休退園見直し検討

問　本市では第2子以降を出産し親が育児休業を取得した場合、現状では2歳児以下の上の子が保育園を退園させられる。育休退園の見直しは、子育て世代に選ばれるまちになるためにも重要である。今後も今の対応を継続するのか。

市長　保育所の待機児童をゼロにする取り組みと、育休退園させない仕組みを両立できるよう検討している。

小児医療費の助成

問　小児医療費助成の中学生への拡大は市長の公約でもあるが、子育て環境にどう影響や効果があるのか。

市長　保護者の経済的負担を軽減し、子供を安心して生み育てられる環境の充実が図られ、医療機関の早期受診により病気の早期発見、治療にもつながる。また、県内で中学校卒業まで助成している市は少ないので、子育てに平塚を選ぶ要素の一つになる。

地域経済の活性化

ツインシティ整備

問　整備事業の現状と今後の取り組みについて伺う。

市長　8月28日に土地区画整理組合の設立認可や市街化区域への編入などの都市計画決定・変更の告示、環境影響予測評価書の公告を行った。事業への同意率は地権者数で82%、面積で78%となっている。今年度から整地造成工事に着手する予定で、組合に対し技術面や財政面での支援を行い、地権者と一体となって事業を推進していく。

問　同意率について、今まで同意を撤回した地権者は何人いるのか。

都市整備部長　同意書を撤回した方は一人もいない。

問　相模小学校移転予定地の同意の状況について伺う。

都市整備部長　土地所有者は二十数人いるが、まだ半数弱の方が未同意である。

問　教育環境の充実は選ばれるまちになるために重要だが、相模小学校の早期開校にどう取り組むのか。

市長　相模小学校の移転は大神地区との約束であり、また学校は地域の防災拠点となる必要不可欠な施設である。引き続き地権者に理解してもらえるよう丁寧な説明を重ねる。

道の駅的な考え方

問　湘南海岸公園では、道の駅を設置しないという認識をしてよいか。

市長　24時間開放を前提とする道の駅は、騒音や治安、交通安全の問題など住環境に与える影響があるので、湘南海岸公園に造るのは難しいと考えている。

問　湘南海岸公園には、トイレの改修や駐車場の拡大、商業施設などの道の駅的なものが必要ではないのか。

都市整備部長　道の駅のような機能の整備も含め、龍城ケ丘プール跡地から湘南海岸公園、大浜地区まで海岸エリア全体の方向性を検討する。

問　以前、公園の使用面積を拡大解釈し、龍城ケ丘プール跡地に道の駅ができないか県と協議してほしいと提案した。協議の進捗状況を伺う。

都市整備部長　龍城ケ丘プールの西側と東側のエリアを占用し、公園として開設できるか協議しているが、保安林などの規制もある。将来的に市が公園として開設するのにふさわしいものになるか検討したい。

▼このほかの質問（仮称）次期平塚市総合計画　介護サービスの充実　健康推進条例の策定に向けて　新たな健康ポイント事業の導入

進歩への挑戦 『夢ある未来』平塚を創る

片倉　章博　議員

ShonanBMWスタジアム平塚改修について

問　今回の補正予算920万円の内容を問う。

都市整備部長　1点目はメインスタンド観客席増設で、メインスタンド両端の最上段部分の立見スペースを改修し、154席を増設する。2点目は審判控室のトイレやシャワーの増設で、日本プロサッカーリーグ規約に合致した設備にする。3点目は照明設備が経年劣化で不点灯や照度不足となる恐れがあるため、照明塔柱の強度調査や照明器具改修の設計を委託するものである。

問　現在、陸上競技場は日本陸上競技連盟の第2種公認の認定を受けているが、改修の要望が出ている。サブトラックについて、どのように考えているのか。

都市整備部長　陸上競技場は現在第2種公認で、来年度に更新をする予定である。サブトラックを併設すると第1種の公認も可能になる。課題はサブトラックを造る場所で、平塚のはらっぱなどを具体的に検討したい。またあわせて、第1種公認になったときの効果も検討したい。

問　湘南ベルマーレのホームタウンは7市3町からなる。本市は陸上競技場であるスタジアムのある本拠地として、市長自らホームタウンサミットを開催し、他の市町に現状認識を広めることが必要ではないか。

市長　平塚市が音頭を取ってホームタウンの市町に応援を呼びかけたい。

馬入サッカー場（人工芝）

問　馬入サッカー場の人工芝の張り替えはしないのか。

都市整備部長　一般的に耐用年数は7～10年と言われている。現在の人工芝の状況を考えると、早急な改修が必要だと認識している。

中心市街地活性化について

問　中心市街地活性化法のくらしにぎわい再生事業にある、「都市機能まちなか立地支援」という国の制度は継続するのか。

産業振興部長　国の地方創生の動きから、継続していくものと考える。

問　（仮称）新文化センターの整備には13年間手が付けられてない。中心市街地の活性化を含め、新文化センターに対する見解を伺う。

産業振興部長　中心市街地に人を呼び込むという点で、新文化センターのような機能は重要である。財源には国の補助金も視野に入れ、ハードとソフトを合わせた計画を作り、導入したい。

石巻市との経済連携

問　本市と石巻市との経済連携を含めた友好都市協定を結んだらどうか。

市民部長　現在、石巻市とは災害協定による職員の派遣を継続している。友好都市提携については、石巻市の復興状況などを踏まえ、両市にとって望ましい関係を研究していきたい。

問　スターモール商店街の空き店舗や場所を活用してアンテナショップを設け、友好都市の名産品を販売したらどうか。また、横の連携をつなげて石巻市も加えれば、いろいろと販売できる。スターモールへの土産物屋の設置を提案するが、市長の見解を伺う。

市長　機会があれば、取り組みの形を検討したい。

産業振興部長　スターモールで新規出店などの話があれば、出店に対する支援や経営改善支援、市が持つ人や物のルート、商品や産地のつながりなどを伝えたい。

議長ダイアリー

Diary

平塚市議会議長　府川　正明

議長の出席した主な会議などをお知らせします。（9月～10月）

- 9月28日　二宮町ウッドチップセンター竣工式
- 10月7日　全国競輪主催地議会議長会役員会
- 10月9日　平塚市危険物安全協会消火競技大会
- 10月16日　平塚市戦争犠牲者を追悼し平和を祈念する集い
- 10月19日　秦野中井インター・平塚アクセス道路事業化促進協議会
- 10月20日　平塚市・ローレンス市姉妹都市提携25周年記念式典
- 10月22日　神奈川県市議会議長会定例会
- 10月27日・28日　全国競輪主催地議会議長会臨時総会